

今週のお祈り 大齋節第5主日特祷

全能の神よ、み子イエス・キリストは大祭司として来られ、その血をもって至聖所に入り、ただひとたび永遠の贖いを全うされました。どうかご自身を神に献げられたキリストの血によって、わたしたちの良心を死に至る行いから清め、あなたに仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外244

発行日
2025年
4月6日

桜が咲き、春らしくなりました。ご入学ご入園の皆さん、おめでとうございます！ また進級、新社会人など新しい生活が始まる皆さんの上にも、神様の豊かなみ恵みと祝福がありますよう心からお祈りしています



今週の聖書 ルカによる福音書 20:9-19

9 イエスは民衆にこのたとえを話し始められた。「ある人がぶどう園を造り、これを農夫たちに貸して、長い旅に出た。10 収穫の時にになったので、ぶどう園の収穫を納めさせるために、僕を農夫たちのところへ送った。ところが、農夫たちはこの僕を袋叩きにして、何も持たせないで追い返した。11 そこでまた、別の僕を送ったが、農夫たちはこの僕も袋叩きにし、侮辱して何も持たせないで追い返した。12 さらに三人目の僕を送ったが、これにも傷を負わせて放り出した。13 そこで、ぶどう園の主人は言った。『どうしようか。私の愛する息子を送ろう。この子ならたぶん敬つてくれるだろう。』14 しかし、農夫たちはその息子を見て話し合った。『これは跡取りだ。殺してしまおう。そうすれば、財産はこちらのものだ。』15 そして、息子をぶどう園の外に放り出して、殺してしまった。さて、ぶどう園の主人は、農夫たちをどうするだろうか。16 戻つて来て、この農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるに違いない。」民衆はこれを

聖書からのメッセージ

「支えられているいのち」 主教 高橋 宏幸

ぶどう園の主人が、農夫たちを信頼し、自分のぶどう園を貸し与えて旅に出ました。ぶどう園とは、私たちに神様から授けられているいのちを、豊かに生きるべくお借りしているものと言えます。

主人は三人の使いを送りますが、農夫たちは追い返してしまい、遂に我が子を送りますが、いのちを奪われてしまいます。

このたとえ話の最後のほうで、イエス様は「人々から役に立たないと捨てられ、放り出される石が、新しく家を建てる時の礎、要石になる」とご自分の身に起こることを語られます。私たちのいのちはイエス様によって支えられ、立てられ続けていることを心に留めたいと思います。

聞いて、「そんなことがあってはなりません」と言った。17 イエスは彼らを見つめて言われた。「それでは、こう書いてあるのは、何のことが。『家を建てる者の捨てた石／これが隅の親石となった。』18 その石の上に落ちる者は誰でも打ち砕かれ、その石が落ちて来た者は、押し潰される。」19 その時、律法学者たちと祭司長たちは、イエスが自分たちに当てつけてこのたとえを話されたとき、民衆を恐れ、